

特定非営利活動法人  
日本雲南<sup>はんぎょ</sup> 友誼協会

【東京本部】〒162-0846 東京都新宿区西谷左内町 21-13 1階  
Tel: 03-5206-5260 Fax: 03-5206-5261  
Email: yunnan@jyfa.org  
URL: http://www.jyfa.org/  
【雲南支部】中国雲南省昆明市人民東路 289 路集大広場 2011 室  
Tel: +86-871-3311468 Fax: +86-871-3320658

編集・発行人 初鹿野恵蘭  
印刷協力 昭和信息プロセス 勝技術評論社



Japan Yunnan  
Friendship Association

# 彩雲の南

## 開校式の旅特別号

会報

発行日 2009年(平成21年)5月20日

### 第18・19校目小学校 開校式の旅



4月17日(金)～23日(木)、第18・19校目小学校開校式の旅が行われました。1週間足らずという短い日程の中、2校の小学校開校式、春蕾クラスとの交流会、支援候補校2校を視察するなど、休む間もなく飛び回るかなりハードな旅。にもかかわらず、皆さん最後まで笑顔でご協力下さいました。1日だけ雨に見舞われた以外は、全て快晴と天候にも恵まれた今回の旅。長時間バスに乗り続けて、険しい山道の連続でお尻が痛くなったのも今では良い思い出です。

本号では、総勢25名が繰り広げた賑やかな旅の様子をお届けします。



#### 開校式の旅 旅行ルート

- 第18校目小学校開校式の旅  
昆明→臨滄 飛行機で約4.5分  
臨滄→清平 自動車で約5時間  
清平→布京 自動車で約3時間
- 第19校目小学校開校式の旅  
昆明→老木壩 自動車で約4時間
- 建設候補地視察  
昆明→柯渡鎮 自動車で約3時間  
柯渡鎮→老村 自動車で約4時間



(左) 小学校は山に囲まれています  
(右上) 新校舎の前で、熱烈歓迎!!  
(右下) 保健・衛生面に課題が多い農村では菜箱の支援も急務 (三木さん寄贈)



文房具やお菓子などをプレゼント!  
子供たちにとっては宝物!!

### 支援第19校目 老木壩小学校 開校式

老木壩小学校は、昆明市に隣接する楚雄彝族自治州のどかな山あい立つ児童数124名(彝族、リス族)の小学校。昆明市から武定市中心部まで自動車約3時間、そこからさらに1時間強の道のりです。華やかな民族衣装に身を包んだ児童や先生方の温かい出迎えを受け、その感激も冷めやらぬままに式典が始まりました。建て替え前の薄暗い校舎からは想像もつかないような日にもまがしい新校舎を前に、

東京たまがわロータリークラブからの机・椅子・ベッドの贈呈式、柏江市和泉小学校とのフレンドシップ協定締結など盛り沢山の内容で式典は進みました。終了後は先生方が準備して下さった滋味豊かな郷土料理に舌鼓を打ちながら、交流を楽しみました。生憎の雨で早めの引き上げになりましたが、「衷心感謝!(心からありがとうございます!)」という盛大な見送りの声に、後ろ髪を引かれる思いでした。



聴かずがっていた子供たちも、徐々に打ち解けてきました



雲南省商務庁・王建偉副庁長(中)  
武定県統戦部・陳麗華部長(右)



東京たまがわロータリークラブ寄贈の  
ピカピカの椅子に座って



(右) 学校の先生方が作って下さった暖かいおもてなし料理  
(左) 左から秋元さん、佐々木さん、関谷さん、樋口順朗、山根順朗





清平小学校の  
校舎が新しくなったよ！

昆明から45分のフライトで隆徳空港に到着し、そこから車で走ること約5時間。九十九折の山道から見える絶景に目を奪われながら辿り着いたのが清平小学校です。同小で学友のはラフ族、ワ族、タイ族の児童114人。式典の最中も愛らしく人懐っこい笑顔で参加者を見つめていました。改装された校舎は明るく清潔で、先生の「今まではあまりに教室が暗くて生徒の視力に影響が出るから、毎週必ず席替えして明るい場所と暗い場所を席を交代しなければならなかった。でもこれからは大丈夫です」という言葉にホッとします。



日中友好の木、  
いつか満開の花が  
咲くように・・・

隆徳の田舎を歩く  
樋口誠司先生



布京小学校では、夜8時近くの到着にも関わらず、住民の皆さんがキャンプファイヤーとワ族伝統の踊りで盛大に出迎えてくれました。宿泊した翌朝は座談会が催され、子どもの将来への思いなど現地の方の率直な気持ちを聞くことができました。



支援についての記念碑が  
清平小学校の校舎に飾ら  
れました



支援についてインタビューを受ける  
アムホールディングス北川さん、  
カメラが慣れる子どもたち



開校式の準備だぞ！  
さあ椅子を校庭に運んで...

老 村 小 視 察



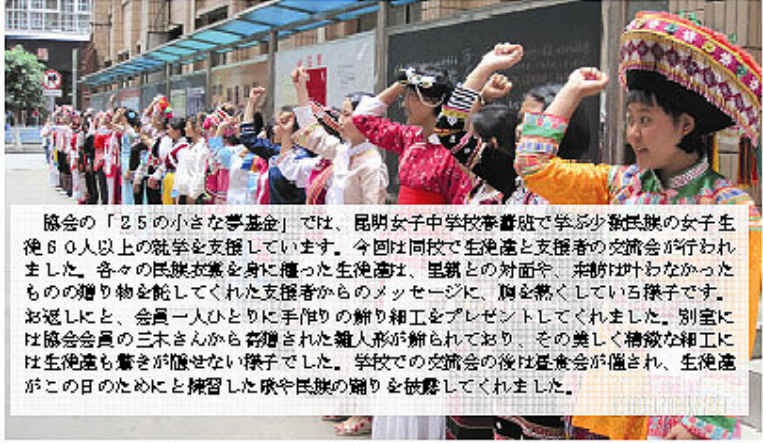
ツアー最終日は、昆明市郊外の老村小学校を視察。途中に広がる棚田は息を呑むほどの壮大さですが、その手付かずの美しさは外の世界と隔絶された地域の現状の裏返しです。ハード面の整備もさることながら、「子どもたちに外の世界を見せたい」という先生方の熱切な願いにも応えたい思いでした。



若い先生方の熱意がとても印象的だっ  
た老村小学校



視察の際には必ず学校関係者と  
日本語で話し合いが持たれ  
ます（※写真は布京小）



協会の「25の小さな夢基金」では、昆明女子中学校春巻班で学友少数民族の女生徒80人以上の就学を支援しています。今回は同校で生徒達と支援者の交流会が行われました。各々の民族衣裳を身に纏った生徒達は、里親との対面や、来訪は叶わなかったもの贈り物を託してくれた支援者からのメッセージに、胸を熱くして行く様子です。お返しにと、会員一人ひとりに手作りの飾り細工をプレゼントしてくれました。別室には協会会員の三木さんから寄贈された雑人形が飾られており、その美しく精緻な細工には生徒達も驚きが隠せない様子でした。学校での交流会の後は昼食会が催され、生徒達がこの日のために練習した歌や民族の踊りを披露してくれました。



宿舎にて、何気ない様子にも  
少女らしい華やかさがあります



校内に日本のお籠餅が飾られました。右は交流会の様子



生徒たちの書いた書道作品  
本当に上手です！



ナシ族の女の子と彼女をサポートする関谷さん



撮影は皆さんに任せろ！

当協会会員の朝アドメディア・石井さん率いる撮影グループが、開校式の旅に同行して下さいました。来年、協会は設立10周年記念を迎えますが、その記念DVD用の映像を撮影するためです。ハードな日程にも関わらず、最高の瞬間をカメラに収めるべく常に重い機材を構え、片時も休まずに動いておられる様子はまさにプロフェッショナル。どんな作品になるのか今から期待が胸一杯です！



第18・19回開校式の旅参加者  
平田栄一/佐々木英介/小島岩男/北川陽平/  
石井敏雄/土田孝志/林則幸/木村和行/八木重泰/  
三木秀隆/秋元剛/関谷雄弘/中野謙一/原忠昭/  
藤原健次/大塚雄介/関根富士子/大沼裕之/  
山根洋利/小澤文徳/樋口忠治(顧問)/  
初鹿野憲樹(理事長)/上田亜希子(東京本部)  
林田・内海圭子(雲南支部)/  
以上、計25名(敬称略・順不同)